

フルミスト 鼻孔に噴霧するタイプのインフルエンザワクチン

メリット

1. 注射ではないので痛くありません
2. 接種は1回 接種量左右それぞれ0.1mlずつ（注射は0.5ml）
3. 予防効果は注射とほぼ同じで6歳未満はフルミストが優れていると言われています
4. 効果の持続期間は1年（注射は最大5か月）

デメリット

1. 生ワクチンですのでワクチン接種後インフルエンザを発症する恐れがあります
2. 接種後に風邪症状が出ることもあります（鼻汁鼻閉は約60% 発熱約10%）
3. 年齢制限（2～18歳）

接種できない方

1. ゼラチンアレルギーのある方 強い卵アレルギーのある方
2. 喘息発作がコントロールできていない方
3. 嫌がって暴れられる方（鼻腔が傷つく恐れがあります）
4. 当日鼻炎症状の強い方は医師の判断で注射に変更をお願いする場合があります

接種後の注意点

1. まれにアナフィラキシー（全身じんましん 呼吸困難など）重大な副反応が現れることもありますので30分は院内でお過ごしください
2. 当日入浴できます。激しい運動は避けてください
3. あとでくしゃみをしても鼻をかんでも効果はあります
4. 鼻腔内にワクチンが1～2週間残っており、感染させる恐れがあるため妊婦や重度の免疫不全者との接触は避けてください
5. いつもと違う体調変化や以上を認めた場合は速やかに医師に相談してください

鼻へ噴霧するタイプのインフルエンザワクチン

医療関係者用

フルミスト点鼻液の接種方法

フルミスト点鼻液は、
こんなワクチンです

- 2～18歳の方を対象に、接種が1回で完了するワクチンです。
- 鼻へ噴霧するタイプのワクチンのため、針を刺す必要がありません。



Step 1 顔を上に向ける

はじめに、フルミスト点鼻液（ワクチン）を噴霧するために、顔を上に向けます。



Step 2 片方の鼻へ噴霧する

鼻の内側に噴霧器を置きます。その後、フルミスト点鼻液（ワクチン）の半分量である0.1mlを噴霧します。



Step 3 もう片方の鼻へ噴霧する

Step 2と同じように、もう片方の鼻の内側に噴霧器を置きます。その後、残りのフルミスト点鼻液（ワクチン）0.1mlを噴霧します。



これで、フルミスト点鼻液のワクチン接種は終了です。

！ Step 2も3も、ワクチン接種後に、積極的に吸入する（鼻ですする）必要はありません。